

シーンリスト

シーン	シーン名称	チャンネル1	チャンネル2	チャンネル3	チャンネル4	チャンネル5	チャンネル6	チャンネル7	チャンネル8
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									

保証とアフターサービス

保証について

1. 保証について
この商品の保証期間は1年です
(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。

2. 保証書について
保証書が必要な場合は、当社までお申し出ください。

3. 補修用部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用部品を販売しています。
補修用部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヶ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目 (2)清掃 器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1~2回軽く拭いてください。

アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
----------------	--

木・竹・藤 布・和紙	こまめにタオルや柔らかいハサ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
---------------	--

ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したち水洗い、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。
-----	--

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドベーバー、たわし等は使用しないでください。

2. 異常時の処置

ランプ寿命(切れ)以外の異常は、販売店、工事店、または当社までご相談ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談

株式会社ファースト・デザイン・システム

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-26 立花新宿ビル3F
TEL : (03)5339-3070



取扱説明書

保存用

品番 FMD-0408

この度は記憶型調光器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

	禁止 本器の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。熱の影響により火災・感電・落下の原因となります。		厳守 お手入れの際は、必ず壁スイッチもしくはブレーカーを切ってから作業してください。シーンコントローラーのON-OFFスイッチで消灯状態にしても電源は切れないので、感電の原因となります。
	禁止 周囲温度5~35°C、湿度40~85%の環境以外では使用しないでください。火災の原因となります。		厳守 煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。
	禁止 本器にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。		厳守 異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社にご相談ください。
	分解禁止 本器の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。		厳守 ランプ交換の際は、同じワット数のランプと交換してください。ランプの種類・ワット数を間違えて使用すると異常発熱・火災の原因となります。
			厳守 照明器具を取り替える場合などは、必ず販売店か工事店にご相談してください。照明器具によっては、接続すると火災の原因となります。

注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。		照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30°C、一日10時間点灯)において、約8~10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。
	リモコンを落としたり、踏まないでください。故障の原因となります。		点検は、本説明書に従ってお願いします。(3~5年に1度は有資格者の点検をおすすめします。)

目次

■仕様	…	P.2	■設定モードの呼び出しについて	…	P.9
■適合負荷	…	P.2	■負荷の設定について	…	P.10
■各部の名称とはたらき	…	P.3	■先頭回路番号設定について	…	P.11
■点灯・消灯、シーンの選択について	…	P.4	■親器設定について	…	P.12
■明るさの設定について	…	P.5	■エリアの設定について	…	P.13
■設定した明るさの記憶・コピーについて	…	P.6	■リモコン送信機について	…	P.14
■フェード時間の設定について	…	P.7	■故障かな?と思ったら	…	P.15
■OFFタイマーについて	…	P.8	■シーンリスト・保証とアフターサービス	…	P.16

株式会社ファースト・デザイン・システム

仕様

●本器は屋内壁埋込専用です。

●本器にはプラスチックを使用しております。

取扱いは丁寧に行ってください。

●当社指定器具と合わせて使用ください。

品番	FMD-0408
品名	8シーン4回路シーンコントローラー
定格電圧	交流 100V
周波数	50/60Hz兼用
使用温度	5~35°C 40~85%RH
回路数	4回路 位相制御(4回路 内2回路 PWM制御回路)
記憶シーン数	8シーン
リモコン	付属
負荷容量(断熱施工なし)	750VA
負荷容量(断熱施工あり)	400VA
適合スイッチボックス	3個用金属製スイッチボックス深形(カバー付)JISC8340に適合

機能	
フェード時間	0~60秒の範囲で設定(1秒単位/初期設定3秒)
個別点灯	選択した回路を100%で点灯可能
OFFタイマー	10・30・60秒・10・30・60分から設定

適合負荷

	LED調光	白熱灯調光	ON-OFF	蛍光灯調光(PWM)
LED(調光タイプ)	○	×	○	×
LED(非調光タイプ)	×	×	○	×
電球形蛍光灯	×	×	○	×
蛍光灯	×	×	○	×
蛍光灯(PWM 調光タイプ)	×	×	×	○
白熱灯	×	○	○	×

故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
操作できない	電源が切れている。	電源を入れてください。
触ると熱い	表面温度は50°Cぐらいまで上がることがありますがこれは正常です。	—
うなり音がする	本器はわずかにうなり音がしますがこれは正常です。	—
調光できない	負荷設定が間違っている。	照明器具によって設定が異なります。 (負荷の設定について P.10参照) お買い上げの工事店などにお問い合わせください。
	調光できない照明器具を使用している。	適合負荷を参照して、照明器具を調光可能なタイプに設定変更してください。 (負荷の設定について P.10参照)
		負荷種別をL3に設定し、ON-OFF(非調光)モードで使用してください。 (負荷の設定について P.10参照)
あかりがちらつく	適合外の照明器具を使用している。	適合負荷を参照して、適合の照明器具に変更してください。 (負荷の設定について P.10参照)
リモコン操作ができない	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換してください。 (リモコン送信機について P.14参照)
	リモコンの電池が正しく入っていない。	リモコンの電池を正しく入れてください。 (リモコン送信機について P.14参照)
消灯しない	OFFタイマーが作動中になっている。	OFFタイマーを解除してください。 (OFFタイマーについて P.8参照)
	フェードタイムが長く設定されている。	フェードタイムを短く設定してください。 (フェードタイムの設定について P.7参照)
子器と同期しない	エリア設定・チャンネル設定が正しく設定されていない。	親器・子器のエリア設定を確認してください。 (エリアの設定について P.13参照)
	ターミネータスイッチが正しく設定されていない。	親器と最終子器の『ターミネータスイッチ』のみをONに設定してください。 (施工説明書 ターミネータの設定について P.S10参照)
	伝送信号が正しく接続されていない。	親器・子器背面の伝送信号接続を確認してください。 (各子器説明書 伝送信号結線図 P.3参照)

リモコン送信機について

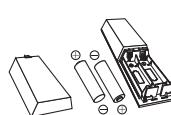
●リモコンの準備をする。

リモコンに乾電池を入れる。(※付属の乾電池は動作確認用です。)

- 1 裏側のフタを軽く押
しながらスライドさせる。



- 2 電池は、単三形(LR6)2個
を極性を合わせて入れる。



- 3 カチッと音がするまで
フタを押し込む。

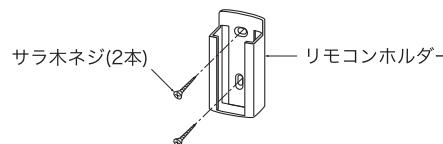


警告

- 電池の $\oplus\ominus$ の向きを正しく確認し、接続してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池を加熱・分解・ショートさせないでください。
- 電池を火の中に投入しないでください。
- 充電式電池を使用しないでください。
- 長期間ご使用にならないときは、電池を取出してください。

●リモコンホルダーを取付ける

リモコンホルダーをサラ木ネジ(2本)で壁面の補強材のある位置に取付けてください。



●リモコンの受信範囲

- ・リモコン送信部をシーンコントローラー受信部に向けて操作してください。
- ・受信距離は直線で約3mです。

※受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信します。

以下のような所で使用すると信号が遮断されたり受信できない場合があります。

- ・受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり送信の影になるところ。
- ・ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ。

照明器具のランプ交換について

●照明器具のランプ交換の際は壁スイッチ又はブレーカーによって電源を切って行ってください。

※シーンコントローラーの『△』ボタンで消灯状態にしても電源は切れていません。

警告

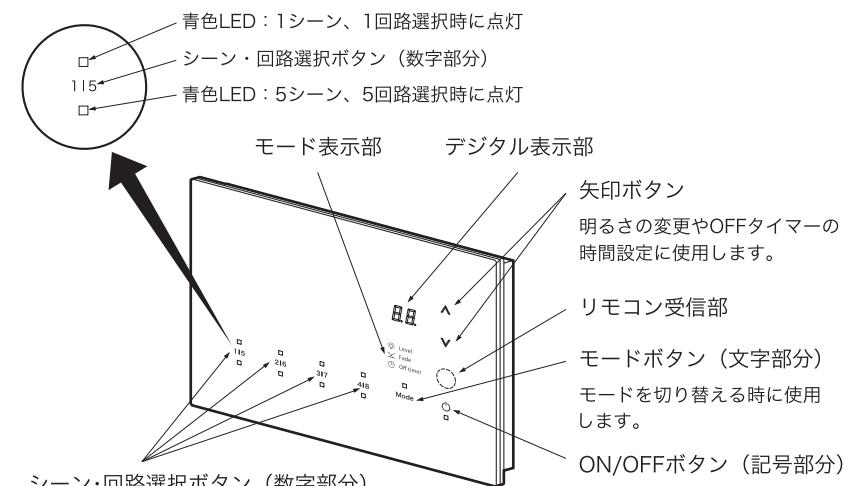
- 機械的に電源を切らない場合、感電の原因となります。

各部の名称とはたらき

※下図は、簡略した図です。

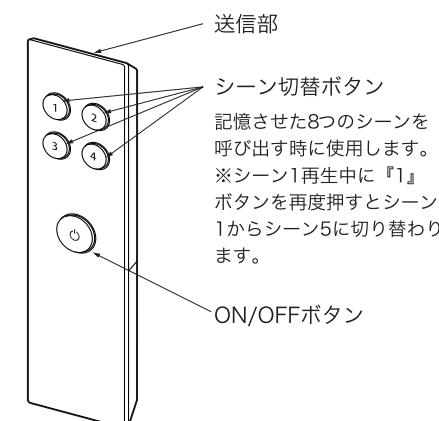
シーンコントローラー

※ボタンはタッチ式なので、指で触れるだけで操作できます。

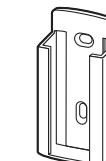


シーンを呼び出す時や、回路を選択する時に使用します。青色LEDが点灯します。
シーン1再生中に『115』ボタンを再度押すと、シーン1からシーン5に切り替わります。

リモコン送信機



付属部品



リモコンホルダー



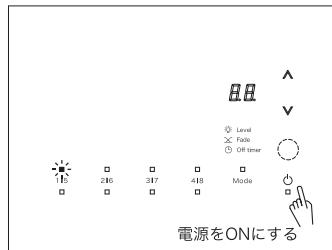
サラ木ネジ (2本)



単三形乾電池(LR6)
(2個)

点灯・消灯、シーン選択の方法について

① 点灯する



『○』ボタンを押してください。

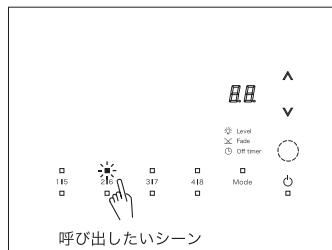


前回使用したシーンが呼び出されます。

※工場出荷時はシーン1が呼び出されます。

該当のシーン選択ボタンの青色LEDが点灯します。

② 呼び出したいシーン(1~8)を選択する



シーン選択ボタン『115』・『216』・『317』・『418』を押してください。

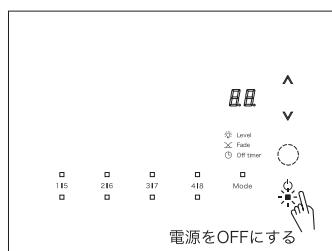


シーンが切り替わります。

該当のシーン選択ボタンの青色LEDが点灯します。

※1シーン再生中に『115』ボタンを再度押すとシーン1からシーン5に切り替わります。

③ 消灯する



『○』ボタンを押してください。



消灯します。

『○』ボタンの青色LEDが点灯します。

※フェード中はシーン選択ボタンの青色LEDと『○』ボタンの青色LEDは両方点灯します。

※OFFタイマーを設定している場合『○』ボタンの青色LEDはOFFタイマーの設定時間が過ぎるまで点滅します。

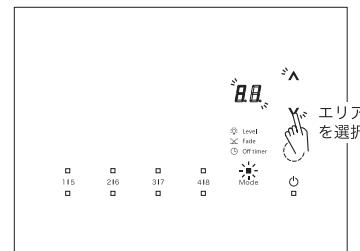
その間のシーン選択ボタンの青色LEDは点滅しています。OFFタイマーの設定時間が過ぎると3秒間のフェードの後消灯します。

エリアの設定について

① 設定モードを呼び出す (P.9参照)

② エリア設定 (初期設定 : A1)

エリア番号を『A1』『A2』『A3』『A4』に設定します。
同一エリアに設定した調光器は同期制御が可能になります。



エリアを『矢印』ボタンで選択してください。
A1 : エリア1
A2 : エリア2
A3 : エリア3
A4 : エリア4

A1→A4の順で切り替わります。

A1 → A2 → A3 → A4



『○』ボタンにて設定を終了してください。

親器設定について

親器設定を行います。

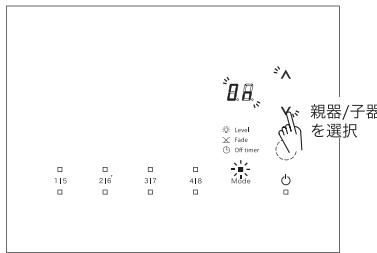
① 設定モードを呼び出す (P.9参照)

② 先頭回路番号設定をする (初期設定 : C1) (P.11参照)

③ 親器設定をする (初期設定 : 子器)

本器を『親器』または『子器』に設定します。

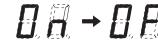
複数の調光機器を伝送信号で接続する場合は必ず1台を『親器』に設定してください。



親器/子器設定を『矢印』ボタンで選択してください。

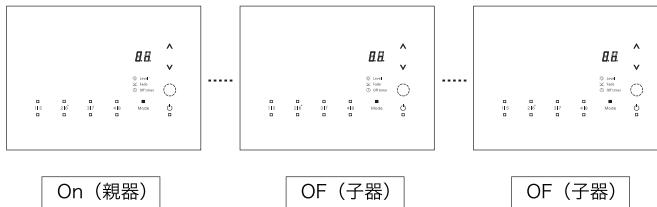
On : 親器設定
OF : 子器設定

On→Offの順で切り替わります。

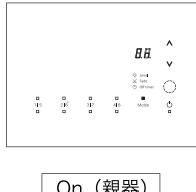


『O』ボタンを押して設定を終了してください。

例 : FMD-0408×3台を接続する場合



例 : FMD-0408を単体で使用する場合

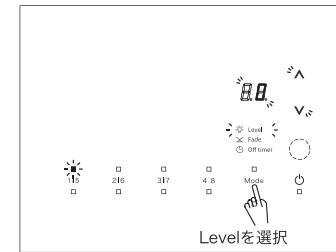


明るさの設定について

●各シーンの明るさを設定します。

① 設定したいシーンを再生します (P.4参照)

② 『Level』(明るさ設定) モードを呼び出す



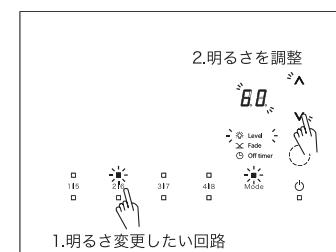
『Mode』ボタンを1回押してください。



『Level』(明るさ設定) モードになります。

モード表示部の『Level』が点灯し、デジタル表示部に現在の明るさが表示されます。
『矢印』ボタンが点灯します。
『Mode』ボタン、該当のシーン番号の青色LEDが点灯します。

③ 明るさを変更したい回路番号(1~8)を選択する



1. 回路番号『115』・『216』・『317』・『418』を選択してください。



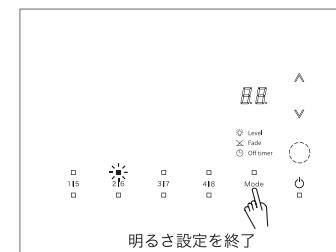
該当の回路番号の青色LEDが点灯します。

2. 『矢印』ボタンで明るさを設定してください。
※明るさの変更範囲は各負荷により異なります。



※100%はFFと表示されます。

④ 記憶せずに『Level』(明るさ設定) モードを終了する



『Mode』ボタンを3回押して設定モードを終了してください。
(30秒経過すると自動終了し確定します)



デジタル表示部と『矢印』ボタン、『Mode』ボタンの青色LEDとモード表示部が消灯します。

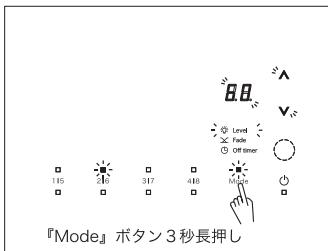
※この操作は一時的な明るさ設定で、設定した明るさは記憶されていません。他シーン再生や消灯をすると、編集前のシーンに戻ります。
※設定した明るさを記憶する方法はP.6を参照してください。

設定した明るさの記憶・コピーについて

①『Level』(明るさ設定) モードを呼び出す (P.5参照)

②明るさを設定したい回路番号(1~8)を選択する (P.5参照)

③設定した明るさをシーンに記憶する

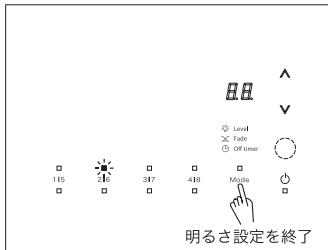


明るさ設定が終了したら『Mode』ボタンを3秒以上長押ししてください。デジタル表示部が点滅し、現在のシーンに記憶されます。

↓
デジタル表示部が3秒点滅し点灯に戻ります。

※この操作は設定した明るさは記憶されます。
シーンを記憶しない一時的な明るさ変更についてはP.5を参照してください。

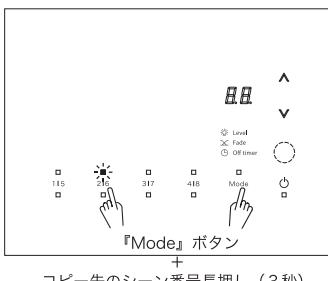
④明るさ設定を終了する



『Mode』ボタンを3回押して設定モードを終了してください。
(30秒経過すると自動終了し設定が確定します)

↓
デジタル表示部と『矢印』ボタン、『Mode』ボタンとモード表示部が消灯します。

⑤設定した明るさを他のシーンへコピーする



シーン再生中に『Mode』ボタンとコピー先のシーン選択ボタンを3秒以上長押しします。

↓
デジタル表示部に『CP』が点滅表示されコピーが完了します。

※コピーは『シーン1~4』・『シーン5~8』間のみでできます。

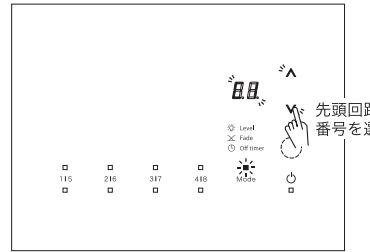
先頭回路番号設定について

先頭回路番号設定を行います。

①設定モードを呼び出す (P.9参照)

②先頭回路番号設定をする (初期設定 : C1)

本器の回路番号を『チャンネル1~4』または『チャンネル5~8』に設定します。



先頭回路番号を『矢印』ボタンで選択してください。

C1 : チャンネル1~4モード

C5 : チャンネル5~8モード

C1→C5の順で切り替わります。

C1 → C5



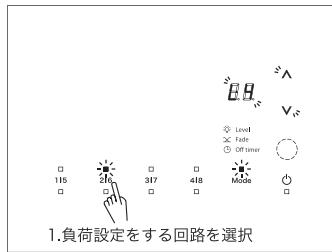
『○』ボタンにて設定を終了してください。

負荷の設定について

- 接続負荷を『LED調光』『白熱灯調光』『ON-OFF』『PWM調光』に設定します。

① 設定モードを呼び出す (P.9参照)

② 負荷設定をする



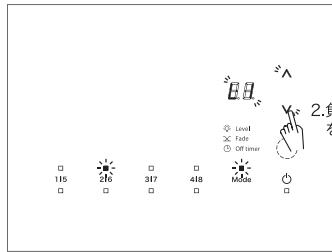
1. 負荷設定をする回路を選択

1. 回路『115』・『216』・『317』・『418』を選択してください。



回路番号が切り替わります。

選択した回路の青色LEDが点灯します。
デジタル表示部に選択した回路の現在の負荷設定が表示されます。
『矢印』ボタンが点灯します。



2. 負荷種別を『矢印』ボタンで選択してください。



負荷種別が切り替わります。

- L1 LED調光モード(21~100%調光)
- L2 白熱灯調光モード(11~100%調光)
- L3 ON-OFF(非調光)モード(ON-OFF)
- L4 蛍光灯調光モード(PWM調光)
※回路3・4のみ

L1→L2→L3→L4の順で切り替わります。

→ → →

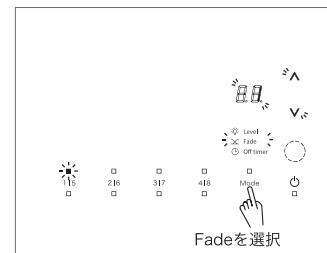
『○』ボタンにて設定を終了してください。

※負荷設定が間違っている場合、ご使用照明器具の寿命を低下させる恐れがあります。

フェード時間の設定について

- シーンの切替時間(フェード時間)の設定をします。(初期設定: 3秒)

① 『Fade』(フェード時間)モードを呼び出す



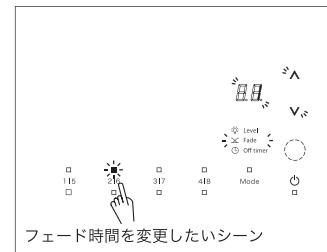
『Mode』ボタンを2回押してください。



『Fade』(フェード時間)モードになります。

モード表示部の『Fade』、『矢印』ボタン、『Mode』ボタンが点灯し、デジタル表示部に現在設定中のフェード時間が表示されます。

② フェード時間を変更したいシーン(1~8)を選択する

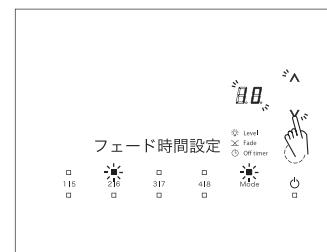


シーン番号『115』・『216』・『317』・『418』を選択してください。



選択したシーン番号の青色LEDが点灯し、デジタル表示部に現在設定中のフェードタイムが表示されます。

③ フェード時間を設定する/モードを終了する



『矢印』ボタンでフェード時間を設定してください。



0~60秒の範囲で設定できます。



『Mode』ボタンを2回押して終了してください。(30秒経過すると自動終了し設定が確定します。)

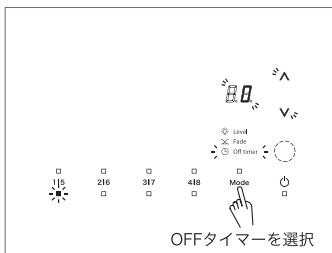


デジタル表示部と『矢印』ボタン、『Mode』ボタンの青色LEDが消灯します。

OFFタイマーについて

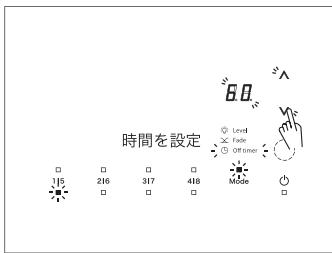
●OFFタイマーを設定すると、電源をOFFにした際、設定した時間が経過した後に消灯します。（初期設定：0秒(OFFタイマーが設定されていない状態です。)）

①『Off timer』(消灯時間設定) モードを呼び出す



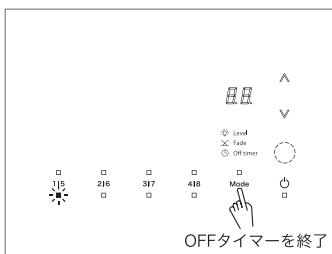
『Mode』ボタンを3回押してください。
↓
『Off timer』(消灯時間設定) モードになります。
モード表示部の『Off timer』が点灯し、デジタル表示部に現在の設定時間が表示されます。
『矢印』ボタン、『Mode』ボタンが点灯します。

② 消灯までの時間を設定する



消灯までの時間を『矢印』ボタンで選択してください。
↓
0→10→30→60 (秒) → 10.→30.→60. (分) の順で切り替わります。
60 60 : コンマが点灯します。
(秒)表示 (分)表示

③ モード『Off timer』を終了する

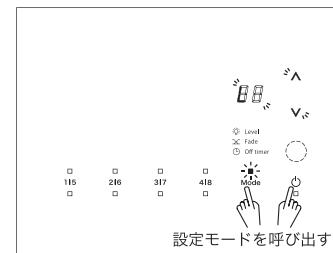


『Mode』ボタンを1回押して終了してください。
(又は、30秒経過すると自動終了し確定します。)
↓
デジタル表示部と『矢印』ボタン、『Mode』ボタンとモード表示部が消灯します。
※電源をOFFにした際、設定時間が経過している間、『△』ボタンが青色に点滅します。
※点滅中に再度『△』ボタンをタッチするとOFFタイマーを待たず強制終了します。

設定モードの呼出しについて

- 各種初期設定を行います。
- 『△』ボタンをタッチして、電源を入れてから下記操作を行ってください。

① 設定モードを呼出し、設定項目を選択する



1. 『△』ボタン+『Mode』ボタンを3秒押してください。

↓
『設定モード』が呼び出されます

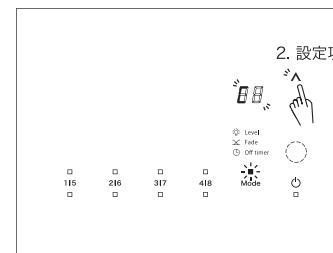
デジタル表示部に設定項目が表示されます。

L負荷設定：LED調光・白熱灯調光
PWM調光・ON-OFF

E先頭回路番号設定：C1・C5

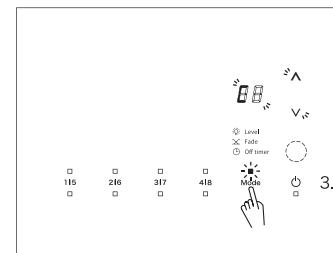
Aエリア設定：A1・A2・A3・A4

D親器設定：On・OF



2. 『矢印』ボタンで設定項目を選択してください。

↓
デジタル表示部に設定項目が表示されます。



3. 『Mode』ボタンで設定項目を決定して、各設定を行ってください。